

平成22年度 予算

平成22年度の当初予算が、第1回市議会定例会で決まりました。『日本の宝島「天草」の創造』をまちづくりの基本理念とする第1次天草市総合計画の着実な推進に向けて、予算を編成しています。

今号では、平成22年度の予算について紹介します（※金額は万円未満を四捨五入。構成比や予算額については、千円単位での取り扱いですので必ずしも一致しません）。

なお、施策と主な事業については、「市政だより天草」8月1日号でお知らせします。

一般会計

一般会計の予算額は486億4,995万円です。前年度と比べると8億1,050万円の減少となっています。

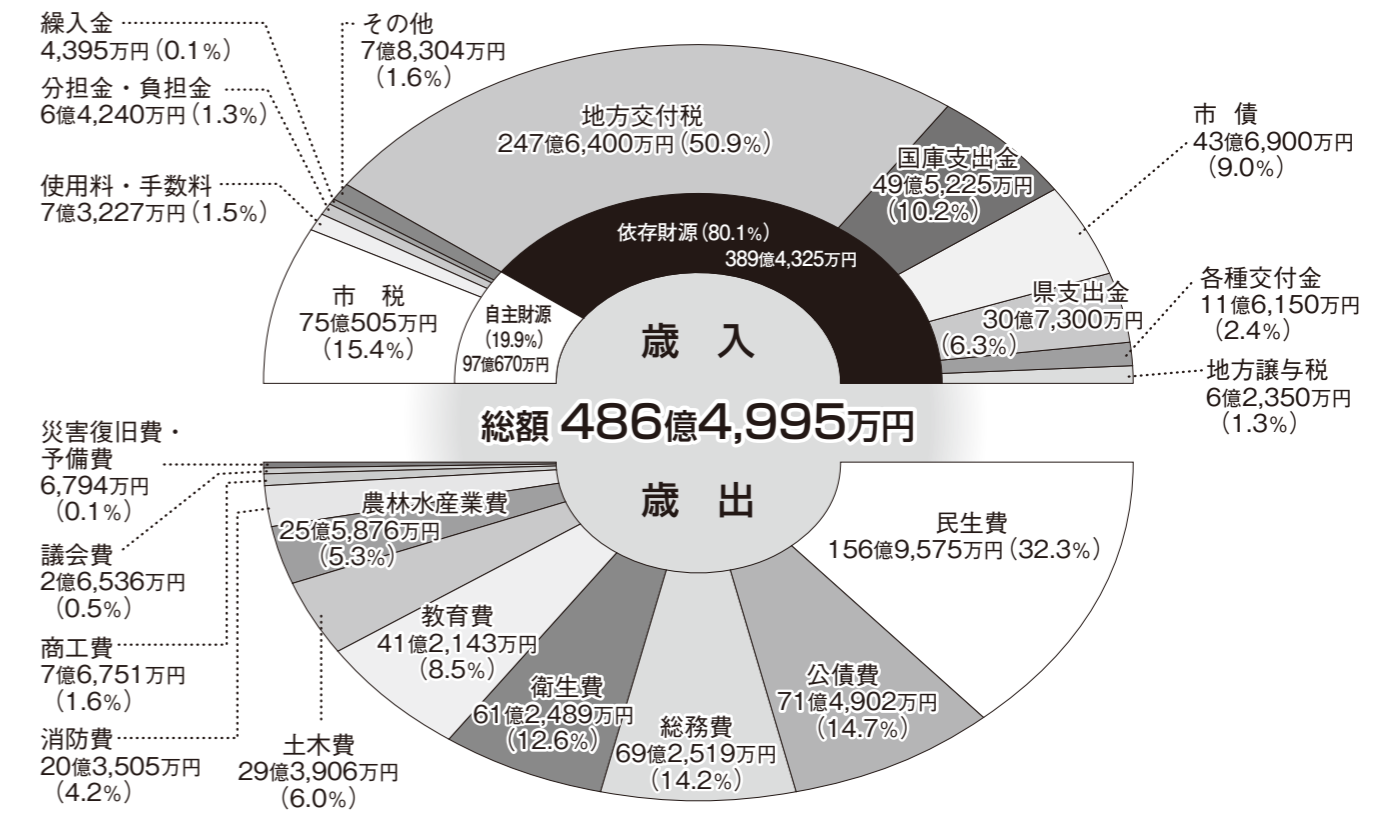
歳入

歳入は、市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や国・県の支出金、国や金融機関などから借り入れる市債などの「依存財源」に分けられます。

平成22年度の自主財源は、97億6,700万円です。歳入総額に占める割合は19.9%（前年度20.0%）となっています。一方、依存財源は389億4,325万円、25万円で、歳入総額に占める割合は80.1%（同80.0%）となっています。

※一般会計予算の内訳は下グラフのとおりです。

◆一般会計予算の内訳



◆特別会計の予算額 別表1

区分	平成22年度	前年度比較	増減率
国民健康保険	141億8,226万円	▲3億8,374万円	▲2.6%
老人保健医療	756万円	▲1億7,177万円	▲95.8%
介護保険	94億3,155万円	3億1,079万円	3.4%
後期高齢者医療	12億7,325万円	7,117万円	5.9%
公共下水道事業	12億2,866万円	▲1億5,083万円	▲10.9%
特定環境保全公共下水道事業	6億8,360万円	▲1億511万円	▲13.3%
農業集落排水事業	5,269万円	▲294万円	▲5.3%
漁業集落排水事業	8億3,448万円	3億9,746万円	90.9%
浄化槽市町村整備推進事業	1億7,174万円	506万円	3.0%
簡易水道事業	17億6,096万円	▲6億6,384万円	▲27.4%
国民健康保険診療施設	2億256万円	1,387万円	7.3%
歯科診療所	4,762万円	204万円	4.5%
埠頭事業	1,137万円	▲315万円	▲21.7%
斎場事業	9,953万円	▲2,727万円	▲21.5%
一町田財産区	323万円	11万円	3.7%
新合財産区	67万円	▲1万円	▲2.3%
富津財産区	10万円	▲2万円	▲15.1%
合計	299億9,183万円	▲7億818万円	▲2.3%

※▲=マイナス

◆企業会計の予算額 別表2

区分	平成22年度	前年度比較	増減率	
病院事業	収益的収入	37億9,340万円	8,081万円	2.2%
	収益的支出	37億9,340万円	8,081万円	2.2%
	資本的収入	2億3,345万円	7,157万円	44.2%
	資本的支出	4億1,420万円	9,788万円	30.9%
水道事業	収益的収入	14億2,531万円	▲6,133万円	▲4.1%
	収益的支出	13億8,390万円	▲7,427万円	▲5.1%
	資本的収入	7億3,156万円	▲473万円	▲0.6%
	資本的支出	14億5,924万円	▲3,838万円	▲2.6%

※▲=マイナス

歳出

歳出は、使われるお金の目的によって、民生費や総務費など12項目に分けられます。

今年度の予算で最も大きな割合を占めているのは民生費（32.3%）です。民生費とは、お年寄りや障がいのある人に対する福祉の充実、子育て環境の充実などに使われる費用です。

これに続いて、公債費、総務費、衛生費、教育費、土木費の順になっています。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計の歳入歳出と区分して会計処理をするために設置するもので、その設置は法律や条例で認められています。

本市では、国民健康保険や老人保健医療、介護保険、公共下水道事業など17の特別会計を設けています。

※それぞれの予算額は別表1のとおりです。

企業会計

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置しているものです。

本市では、病院事業と水道事業を企業会計で処理しています。

※それぞれの予算額は別表2のとおりです。